

* 躰道部創部 50 周年式典行われる

去る 7 月 20 日 (日曜日)、予定通り躰道部創部 50 周年式典が東京ガーデンパレスにて開催されました。3 年前の仁雄会 45 周年の式典は突然の地震のため、数名の先生方が到着できないというパニングがありましたが、今回は谷口先生が所用でご到着が遅れるという小さなトラブルはありましたが、70 名ほどの先生、現役部員が集まり、予定を 1 時間オーバーするという熱気あふれる会が無事行われました。参加者は部創設者の谷口先生から現役部員まで、さらに最年長の松本先生も名古屋からお越し下さり、年齢差 60 歳を超える多彩なものとなりました。また本院からも宗家代行の工藤依子様、齋藤育代様にご出席頂いたほか、NPO 法人日本躰道協会から会長の中村正弘先生、理事長の安倍幸史郎先生、高道玄三朗、近藤光男両範士はじめ大勢の先生方にご出席頂きました。

会はずまず昨年ご逝去された奥藤百世、中島一憲両先生に黙祷を捧げた後、この時点では到着されていなかった谷口先生に代わって渡辺三雄先生のご挨拶、次いで本院から工藤依子様のご挨拶、さらに木下先生から祝辞ならびに乾杯のご発声をいただきました。しばし歓談の後、大分から駆けつけていただいた、松本先生の尺八演奏、とつづいていきました。現役部員の紹介ならびに昼間行われた学内躰道優勝大会 (後述)、の褒賞授与がおこなわれたのち、範士を代表して、高道先生、さらに到着された谷口先生からのご挨拶をいただきました。谷口先生からは仁雄会創設の第一の目的はあまり口を出さず、とにかく現役部員を援助すると言うものである、というお話がありました。その精神とともに 50 年間部活が継続していることはとにかくたいへんすばらしいものである、と改めて感じた次第です。仁雄会会員の先生方は世代別に壇上にあがっていただき「一人一言簡単に」ということでスピーチをお願いしたのですが、やはりそういう訳にも行かず、次第は大幅に遅れることになりました。これは致し方ないところと思われまます。

スピーチのなかでは 3 年前に「夢のお告げ」の話しをされた、村田さんから「続・夢のお告げ」の話があるなど、興味深いスピーチもあるのですが紙面の都合で各人の挨拶をすべて紹介することはできませんのでご了承ください。あつという間に予定の 3 時間が過ぎ去ってしまいましたが、この熱気あふれる状況で終了する訳にもいかず延長ということになりました。最後は記念誌を作ったときの写真ファイルを利用して、「50 年を振り返る」というスライド上映を行い、中島先生のご挨拶の後、宮下現監督の指揮のもと、50 年の思いを込めた十本付きで締めとなりました。

大人数となったため進行等が順調にいかなかった点ではありますが、これだけの人数の先生方、現役部員の集まっていたいただき、実行委員長としてはとにかく感謝の念で一杯です。出席された先生方には心より感謝申し上げます。また下記のように書籍などのご購入でお協力いただき、多少余剰金が生じたので、仁雄会の積み立て金に繰り入れさせていただきました。次の式典はいつ行うかは未定ですが、近年は部員も増え、城北地区大会の展開競技で優勝するなど、部活は上昇の兆しを見せています。会員の皆様の引き続きの、ご理解とご援助をお願いいたします。

式典出席者 (順不同敬称略) (仁雄会関係) 谷口興一松本昌世、中島 章皓、木下一郎、八木 政明、渡辺 三雄、新富 芳明、藤原 秀臣、佐藤 良治、清水友、小川博章、鈴木格、三壁敏雄、戸塚慎一、原良秋、宮崎隆、橋本吉明、村田耕一、伊藤雅史、土井庄三郎、柴田俊一、鬼澤浩司郎、佐藤準一、寺田典夫、役山仁登志、金明培、遠坂頭、小島雅治、下田益弘、島田康史、森田恭一、古木謙、布施泰子、松本進一、馬場麻人、和田忠志、南一郎、戸田英美、堀内和一郎、宮下宏紀、三枝英敏、宮下 (喜多) 教子、古山貴基、江川京子、飯村祥子、林香里、木村健太郎

(宗家、躰道協会関係) 工藤依子、齋藤育代、近藤光男、高道玄三朗、中村正弘、田中勇悦、安倍幸史郎、宮崎友次、小田島隆、中野哲爾、松本晃

(現役部員) 池尾茉莉、佐々木真理、坪川正樹、八木大門、隈陽一郎、戸出真宏、笠原里奈、折原あすみ、金崎彩子、三枝真心、宮本翔平、森美奈子、渡邊聡美、今井彩乃、榎田泰祐、岡部留理子、立川聡、中西一弘、成相諒子、戸島範之、沼田友理



平成19年度会計報告

昨年度は大きな会合はありませんでしたが、引き続き皆様のご協力で多くの会費をいただきました。ご協力いただいた先生方にはあらためて深く感謝申し上げます。昨年度会費を収めていただいたのは次の先生方です（順不同、敬称略）。

谷口興一、中島章皓、松本昌世、木下一郎、八木政明、戸叶正淑、渡辺三雄、遠藤玲之助、新富芳明、藤原秀臣、鈴木晴司、川蔦真人、永島実、日野恒和、山内英樹、飯泉智弘、奥村弘一郎、岩永勝彦、佐藤良治、清水友、福本達、小川博章、鈴木格、知花朝美、戸塚慎一、原好秋、宮崎隆、橋本吉明、村田耕一、土井庄三郎、柴田俊一、鬼沢浩司郎、佐藤準一、寺田典夫、役山比登志、金明培、渡辺功、小島雅治、遠坂頭、布施泰子、佐藤栄吾、松本進一、青木章、和田忠志、田中宏明、石川直人、赤池智江、岡部格、南一郎、戸田英美、宮下宏紀、宮下（喜多）教子、古山貴基

平成20年度仁雄会会費納入のお願い

7月に式典を行って式典の会費をはらったばかりなのに、またかと思われる先生もいらっしゃると思いますが、本年度も会費納入をお願いする季節になりました。上述のように部活は上昇気配にありますので引き続きのご援助の程、よろしくお願い致します。

会費は例年通り医学部、歯学部卒1万円、パラメディカルおよび保健衛生学科卒5千円となっており、同封の振り込み用紙でご納入ください。

加入者名 東京医科歯科大学 仁雄会

口座番号 00130-5- 36708

新人歓迎コンパ行われる

脛道部創部50周年式典に先立ち、6月14日（土曜日）に顧問の天笠先生らのご出席のもと、3名の新入部員を迎えた新人歓迎コンパが、例年のように新宿の焼き肉屋で行われました。私は別の会があったため途中からの参加となりましたが、現在部員数も増え、こちらにも活気あふれる会が続きました。二次会からは聖路加卒のOGも合流して和気あいあいと会が進みました。宮下先生が監督に就任されて2年目となりますが、順調に部は活動しているようで心強い限りです。私はさすがに体力がもたず、二次会で失礼しましたがその後も楽しい会は続いたようです。詳細は脛道部ホームページ（アドレス：<http://tmdutaido.client.jp/>）の「日誌」6月14日分をご覧ください。

上半期の大会結果

本年は監督の宮下と同期の堀内、三枝が再び部活に参加し、0B混合チーム（オール医歯大）チームを作

って試合に参加している他、江川、林らOGも千葉の己練館(中野哲爾館長)に所属し活動してくれています。これまで宮崎先生などごく一部の方を除いてOBが躰道の活動を継続している例はほとんどなく50年を経過してこれが新しい慣例となっていくことを希望しています。

神奈川県大会 3月16日

堀内：団体実戦優勝(団実のチームはくじびき)

中西：男子級位実戦優勝

成相：女子級位実戦三位

丸山；女子級位実戦三位、女子級位法形三位

宮下、堀内、三枝、戸出、隈、宮本；団体展開競技準優勝

笠原：女子一般実戦三位

第30回弘前さくら祭り協賛躰道優勝大会 4月19、20日

一般団体実戦競技：一回戦敗退(宮本翔平、丸山遙、堀内和一郎、笠原里奈、戸出真宏)

一般展開競技：準優勝(主：宮下宏紀、1：大橋正芳(東京国際大OB)、2：堀内、3：隈陽一郎、4：三枝英敏、5：宮本)

一般男子個人実戦競技：予選敗退(堀内)

一般段位法形競技：予選敗退(戸出)

一般級位法形競技：予選敗退(丸山)

女子三つ巴実戦競技：準優勝(丸山)

東京城北地区躰道優勝大会 6.29

展開競技：優勝(主：隈 1：坪川 2：中西 3：宮本 4：榎田 5：立川)

女子団体実戦：3位(笠原、金崎、折原、三枝、森)

男子級位実戦：2位(中西)

女子級位実戦：2位(成相)

男子個人法形 優勝 宮下宏紀

詳細は躰道部ホームページ(アドレス：<http://tmdutaido.client.jp/>)の「日誌」6月29日分をご覧ください。

東京城西地区躰道優勝大会 8.31

展開競技：優勝(主：宮下 1：戸出 2：堀内 3：隈 4：三枝 5：宮本)

団体法形：優勝(捻体)(宮下、堀内、三枝、宮本、立川)

この大会は上述のOB混成チームで団体競技2種目制覇という快挙です。もちろん学生大会にはこのメンバーでは出られません、城北大会優勝のメンバーが出場します。全日本にはこのメンバーでも出られますので、混成チームを作ることもあるかもしれません。

躰道部創部50周年記念学内躰道優勝大会 7月20日 於 学部道場

個人法形 優勝 宮本翔平

準優勝 堀内和一郎

団体実戦 OB対現役対抗戦

優勝 OBチーム

演武 団体法形 (江川、飯村、佐々木、池尾、坪川)

かつて恒例としていた式典時の学内大会を3年前に復活し、今回も行うかどうかを現役部員に聞いたところ、ぜひやりたいとのことなので、今回は試合の企画、運営はすべて現役部員に任せて開催されました。

当日は己練館館長中野哲爾先生を審判長に迎え、親善試合ながらも真剣味あふれる熱戦が繰り広げられ

ました。また新富先生をはじめ仁雄会の先生方も10名ほど観戦にお越しになられました。個人法形はOBと現役が混じったのトーナメントとなり、決勝は3年の宮本が監督補の堀内を破り、優勝となりました。宮本は果敢に捻宙にいどみ、試合を重ねるごとにその精度が増し、本当に勢いに乗っての優勝となりました。準優勝の堀内の法形も見事なもので、特に準決勝で見せた捻体の法形を決勝で行えば（決勝は転体で行った）勝敗はどちらに転んだかわからないと思わせるほどでした。

恒例の現役対OB対抗戦も上述のようにOBは卒業後も活動しているものが大半なので、全試合ともOBの勝利となりました。詳しい試合経過はやはり詳細は躰道部ホームページ（アドレス：<http://tmdutaido.client.jp/>）の日誌7月20日分をご覧ください。

秋シーズンの試合予定

本年、学生大会は例年通り綾瀬の東京武道館での開催ですが、開催日が土曜日となっています。全日本大会は東京武道館ではなくBumB東京スポーツ文化館での開催となっています。本年は展開競技がかなり精度よくまとまっていますので、大いに期待できるころだと思えます。式典に引き続き、時間の都合がつかましたら大会の方へも是非足をお運びください。大会は医科歯科大学のOBであることを告げればそのまま入場できますが、事前にご一報いただければチケットの手配、プログラムの事前発送等を致しますので事務局宛にご一報ください。

* 第42回全国学生躰道優勝大会

日時 平成20年10月25日（土）

場所 東京武道館（綾瀬）

#団体展開、団体法形、新人団体法形のほか男女個人法形、実戦に出場予定。

* 第42回全日本躰道選手権大会

日時 平成20年12月7日（日）

場所 BumB東京スポーツ文化館

#団体展開、団体法形、および城北チームの一員として団体実戦に数名出場予定。